

平成28年度 周南市人権施策推進審議会議事録

- 1 開催日時 平成28年10月28日(金) 10時00分～11時10分
- 2 開催場所 徳山保健センター3階 健康増進室1
- 3 出席者

委員(11名) *5名欠席	石橋委員 上野委員 大迫委員 大塚委員 片山委員 高橋委員 中嶋委員 原澤委員 門司委員 山村委員 山本委員
事務局(7名)	環境生活部次長 人権推進課 3名 人権教育課 3名

4 議事内容

(1) あいさつ(環境生活部次長)

(2) 委員及び事務局紹介

- ・委員の自己紹介
- ・事務局の自己紹介

(3) 議 題

○周南市人権教育・啓発に関する取組 実績報告書について

事務局： 人権推進課より平成27年度周南市人権教育・啓発に関する取組についての報告、平成25～27年度の人権講演会等の開催実績と一般向け及び児童・生徒・保護者・教職員向け人権講演会等の課題別実施状況の報告、内閣府が実施した人権擁護に関する世論調査についての説明を行った。

議 長： 防災をテーマとした取組の実施状況はどうなっているか？

事務局： 防災危機管理課が防災アドバイザー派遣事業を実施しており、実績報告書の42ページにも記載している。

議 長： 全国での世論調査については分かったが、同様の調査を周南市が行う予定はありますか？

事務局： 前回の市民意識調査を県民意識調査と同時に行っているもので、次回も山口県の意識調査に合わせて実施したい。2, 3年後になると思う。
内容は県調査のままでなく、周南市独自のものも加えてもいいのではないかと考えている。検討していきたい。

委 員： 平成27年度は罪や非行を犯した人の問題が0回だが、開催できなかった理

由があるのか？

事務局： 26年度以前には人権ステップアップセミナーで開催していたが、平成27年度は課題も場所も別で実施したため、0回となった。

議長： 「平成27年度周南市人権教育・啓発に関する取組 実績報告」には罪や非行を犯した人の問題が1件ほどあるが、それはどうなっているのか。

事務局： 平成25～27年度の人権講演会等の開催実績と一般向け及び児童・生徒・保護者・教職員向け人権講演会等の課題別実施状況は、人権教育課と人権推進課で実施したものだけを集計しており、平成27年度周南市人権教育・啓発に関する取組 実績報告に記載したものの全ては計上していない。次年度の審議会では実績報告の内容を反映したものを示したい。

委員： 犯罪者の中に少なからず、知的障害者がいるということで、裁判の段階からサポートが入ったり、あるいは社会復帰に向けたサポートも実施されていると聞く。

「罪や非行を犯した人の問題」をテーマとした研修会等を開催していくことが必要だと思う。

事務局： 実施に向けて検討する。

委員： 学校を会場としているからか、人権課題のテーマが偏っているように思う。何かテーマを決めて実施した方がいいと思うが、そういう取組はあるか？

事務局： 人権推進課ではない。地域の自主性に任せているが、ある程度は市としての方向性を示すべきではないかと思っている。

人権教育課が実施するハートフル人権セミナーと人権ステップアップセミナーはテーマを決めて、まんべんなく実施している。

地区・ブロック人権講演会と学校での講演会は、地域・学校でテーマを決めている。

議長： 市としてテーマを決めた取組も進めていただきたい。

委員： ブロック人権などは地域で開催している。周南市はとても広いので地域ごとに実情が違っている。その実情を考慮しながら、講演会を開催していただいているので、とても効果的に感じている。

委員： 平成27年度周南市人権教育・啓発に関する取組 実績報告には実にたくさんさんの事業があり、感心した。平成27年度周南市人権教育・啓発に関する

取組 実績報告と平成25～27年度の一般向け及び児童・生徒・保護者・教職員向け人権講演会等の課題別実施状況を見比べると、整合がなく、分かりづらい。また、報告書を見たときに「罪や非行を犯した人の問題」は少ないように思える。専門性が高い問題なので、対象を一般向けとするか、関係者とするか、検討すべきだと思う。

(4) その他

委員： 講座ごとにアンケートを実施しているようだが、その結果を提示することはできないか？

事務局： 次回の審議会で何らかの形で示したいと思う。

議長： アンケートには研修を受けた前後でどのように意識が変わったかという質問も必要と思う。

事務局： 検討する。